

使用上の注意点

■ 健康に関する注意点

- ・キーボードの使用により、身体的な障害が生じる可能性があります。長時間のご使用は、手や腕、首や肩、腰への負担が大きくなります。不快感・苦痛・鈍痛・痺れ・うずき・筋肉の硬直などの身体症状が生じた場合には、直ちにキーボードの使用を中止してください。また、定期的に休息をとるようにしてください。なお、身体に感じる症状は、使用時・操作時以外でも発生します。体調がよくなるときは、長時間の操作をお控えくださいますようお願い致します。

■ 安全に関する注意点

- ・キーボード本体の落下などにより思わぬ事故となる場合があります。設置する場所は平らで滑らない場所をお選びください。
- ・キーボードは精密機械であり、内部に変圧装置を含みます。飲み物などの水分が内部に侵入しないようお取り扱いに十分ご注意ください。また、喫煙環境での使用は、製品寿命を著しく短くします。喫煙環境下で故障が発生した場合は保証対象外となり、修理をお断りする場合があります。
- ・分解、改造はしないで下さい。手を切る、感電するなどの恐れがあります。また保守用ラベルをはがすなど、分解や修理、改造の痕跡が見られた場合、故障時の保証の対象外となります。
- ・コネクタはぬれた手で抜き差ししないでください。また、加工したり、無理に曲げたりしないでください。火災や感電の原因になります。
- ・キーキャップなどの細かい部品は、お子様の手の届く場所に放置しないでください。飲み込むと窒息死、死亡の原因となります。

パッケージ内容の確認

- キーボード本体 1 台
- 専用 USB ケーブル (MicroB→A) 1 本
- ユーザーマニュアル 兼 製品保証書 (本書) 1 部

注意

ご使用前に、内容物がすべて揃っているかを確認してください。
 なお、梱包には万全を期しておりますが、万一不足品、破損品などがありましたら、すぐにお買い上げの販売店またはアーキサイトサポート窓口までご連絡ください。

製品仕様

製品名	Vortex Core 47keys 40% Mechanical keyboard
対応機種	USB ポートを装備した PC/AT 互換機
対応 OS	Windows 10, Windows 8.1, Windows8, Windows7
対応インターフェース	USB
キー配列/キー数	英語 ASCII 配列 / 47 キー
キーキャップ材質 / 形状	PBT(ポリブチレンテレフタレート) / DSA タイプ
キースイッチ	CHERRY MX スイッチ
キー印字方式	昇華印字
筐体材質	アルミニウム (CNC・アルマイト加工)
ケーブル長	1.8 m (脱着式)
本体寸法 / 重量	W248 x D76.2 x H25.5mm / 410g (ケーブル含まず)

Microsoft Windowsは米国マイクロソフト社及びその他の国における登録商標です。
 Windows is a registered trademark of Microsoft Corporation in the United States and other countries.

■プログラミング(マクロ設定)方法について:

Vortex Coreは、4つのマクロレイヤー(階層)を持っています。

初期レイヤー(L0)はプログラミング(マクロ設定)することができません。

1~3レイヤー(L1~L3)のみプログラミング可能です。

Step 1. プログラミングしたいレイヤー (FN+ L1キー、L2キー、L3キー)を選択します。

(左スペースキー下部のLEDが、L1選択時は赤、L2選択時は緑、L3選択時は青で点灯します)

Step 2. FN + 右CTRLを押してプログラミングモードに進みます。

(右スペースバー下部のLEDが、青で点灯します)

Step 3. プログラムしたいキーを押します。

(右スペースバー下部のLEDが、赤で点滅します)

Step 4. プログラミング内容をタイプし、PNを押します。

(右スペースバー下部のLEDが、再び青で点灯します)

Step 5. ステップ3と4を繰り返し、その他キーもプログラムします。

Step 6. FN + 右CTRLを押して、プログラミングモードから退出します。

(右スペースバー下部のLEDが、消灯します)

注意: 右Ctrl、M、<、>、左Shiftキーへのプログラミングできません。

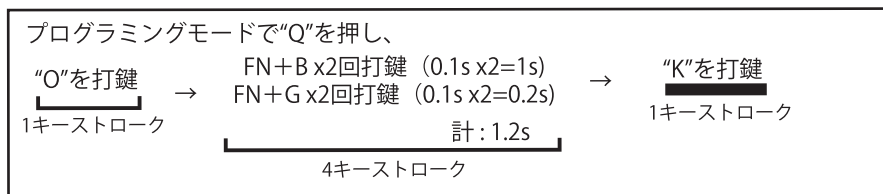
- FNレイヤー (FNキーとの同時押し) のプログラミングは、FNコンビネーションキー (例、FN + A) でプログラムすることができます。
- 文字と文字の遅延間隔の設定をしたい場合は、次の操作で行うことができます。

遅延間隔を15ms にしたい場合	・・・	FN + T
遅延間隔を0.1s にしたい場合	・・・	FN + G
遅延間隔を0.5s にしたい場合	・・・	FN + B

(※設定していない場合は、15ms間隔でプログラムされます。)

また、遅延間隔をより細かく設定することも可能です。但し、遅延間隔を1回挿入する毎に、1キーストロークとしてカウントされます。各キーに対して、最大32キーストロークまでのプログラムすることができます。

(例) Qを押した際に、“ok”と入力されるようプログラムする。oとkの間に1.2秒の間隔を挿入する。

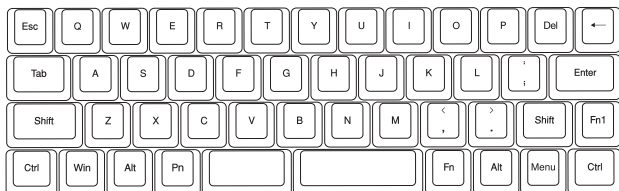


- プログラムモードで、15秒間どのキーも押されない場合、通常モードに戻ります。

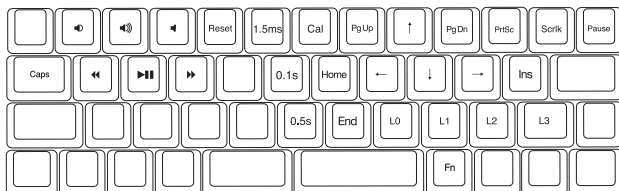
■工場出荷状態に戻す場合

1. FN + Rを押し続けると、左スペースキー下部のLEDが白色で5回点滅し、選択中のレイヤーが工場出荷状態に戻ります。これによりレイヤー毎に初期化することができます。

2. また、左ALTと右ALTを同時に押し続けると、キーコードがプログラムされている全てレイヤーを初期化することができます。(初期設定レイヤーに戻ります)

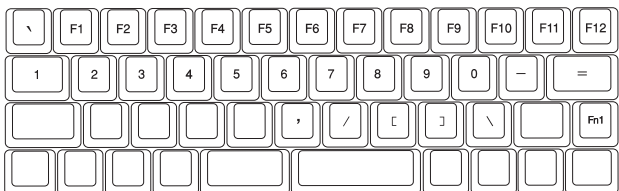


●通常レイヤー



●Fn レイヤー

右スペースバー右横のFnキーとの合わせ押しで入力できるキーです。キーキャップ斜面に“青色”で印字されたキーが入力できます。



●Fn1レイヤー

右Shiftキー右横のFn1キーとの合わせ押しで入力できるキーです。キーキャップ斜面に“赤色”で印字されたキーが入力できます。



●Fn1+ Shiftレイヤー

Fn1+ Shiftとの合わせ押しで入力できるキーです。キーキャップ斜面に“緑色”で印字されたキーが入力できます。

----- 本製品に関するお問い合わせ -----

ご使用中、お気づきの点・ご不明な点がございましたら、窓口をご利用ください。

ホームページからのお問い合わせ

<http://www.archisite.co.jp/inquiry/keyboard/>

上記 URL に設置したメールフォームからのお問い合わせとなります。弊社トップページにある「お問い合わせ」のアイコンをクリックし、必要事項を入力いただいたのち、送信してください。

よくあるご質問・保証条件・修理規定に関して

<http://www.archisite.co.jp/support/faqkeyboard/>

メカニカルキーボード・テンキーパッドに関するよくあるご質問については、上記 URL よりご確認ください。
保証条件・修理規定に関する詳細も明記しておりますので、必ずご確認ください。